

11月6日（木曜日）、2年生32名が「メディカル・プロジェクト2014」として「国際医療福祉大学 大学見学・医療福祉体験」を行いました。

①学科体験

視機能療法学科の原 直人先生による「視機能訓練士の具体的な仕事や魅力について」の講義がありました。真剣に、モニターの画像を見つめる姿が見られました。



講義後、4グループに別れて、様々な視機能検査を体験しました。自分の眼底写真を初めて見る生徒も多く、とても興奮した様子でした。



②模擬授業体験

医療福祉・マネジメント学科の西堀 真弘教授による模擬授業がありました。

「医療福祉分野を目指す人たちへ～チーム医療の観点から～」という題目で、医療福祉分野のさまざまな専門職種と業務分担についての講義がありました。



「医療福祉はさまざまな職種の人々のチームワークで成り立っていることがわかった」と話す生徒の姿がありました。「患者に何かしてあげたいという気持ちをもつことが大事」と、医療福祉に従事するための心構えを聞き、これらの仕事の素晴らしさを再認識したようです。

③先輩からの話

本校OBの石郷岡さんから、現在の大学生活や高校生の時の勉強の様子などを伺うことができました。充実した大学生活の話に、憧れをもって聞き入る姿がありました。



お話を伺った後、生徒からたくさんの質問が上がりました。これから進路選択をする上で医療・福祉に対する興味・関心を高めることができたようです。

④学内見学

2グループに別れて、大学見学を行いました。たくさんの充実した施設の中を見学することができました。見学の途中、最新の機器を体験する生徒の姿がありました。



国際医療福祉大学のみなさん、お忙しい中ありがとうございました。
この経験を活かして、進路を考えていきたいと思います。

生徒の感想

- ・これから時代に、ますます需要が増えていく職業だと知ることができた。
- ・名前しか知らない学部・学科が、どのような目的をもって、どのようなことに取り組んでいるのか知ることができた。
- ・見たことのない医療機器・医療現場など、見たことのある医療の裏側を知ることができた。
- ・一人の患者にたくさんの人人が携わり、いくつもの機器を駆使することで、より精密に検査ができる実感した。
- ・あっという間に2年生の後半になり、進路について考え始めた。これから悩んだり、迷ったりすることも増えてくると思うが、今回の大学見学等を活かして進路を決めたいと思う。